

R6基本研修

教職員の中から専門分野の講座を開設し、その講座の中から学びたい分野を主体的に選択して研修を行いました。教職員同士で講座を開設し、学び合うことで、教職員同士の仲も深まると共に、これからの授業、児童生徒への関わりに活かされる良い機会となりました。

言語系と聴覚系について



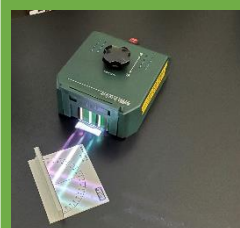
本校 ST(言語聴覚士)の先生から、発音発語や難聴についての講義を受け、理解を深めました。発音や発語に難しさのあるこどものつまずきの背景にある要因を考え、よりよい支援方法を検討する機会となりました。

木工作业

木工の授業を想定して、コースター作りと動物作りに分かれて研修を行いました。糸鋸やヤスリ掛けなど、実際に体験することで児童生徒に教える上での安全に配慮すべき点や指導のポイントなどを皆さん熱心に考えて、取り組むことができました。



理科室の実験・観察器具について



葉の気孔や葉緑体を電子顕微鏡で観察したり、光の入射・反射を学ぶために光源を使って観察したりして、実際に本校の理科室にある器具を使用しながら器具の使い方を研修しました。

ICT



ICT 機器を操作しながら、パソコンの画面録画の仕方や iPad 内のソフトの活用方法などについて学びました。それぞれの教員が、研修で学んだ ICT の活用方法を授業のどのような場面で活かすことができるかを考える機会となりました。

こどものやる気を引き出すメンタルトレーニング

ゲームやロールプレイを通して違う角度で物事を見る体験やゴールを明確に示すことの大切さについて理解を深めることができました。



臨床動作法について

臨床動作法が成立した背景や基本的な考え方について学んだ後、実際に教員同士で臨床動作法を行い、その効果を実感しました。また、授業で子ども同士が取り組めるような臨床動作法についても研修しました。

